



練馬アニメーション協議会が会津若松市に義援金を寄付 ～ 練馬のアニメーション企業による被災地支援活動！ ～

と き 1月25日（金）午後1時

と ころ 福島県 会津若松市役所 市長室（福島県会津若松市東栄町3-4-6）

25日、「練馬アニメーション協議会（石黒竜代表、会員企業51社）」が、東日本大震災で被災した子どもたちを支援しようと、昨年11月の「練馬アニメカーニバル 2012」で実施したアニメ制作体験教室の参加費全額を、福島県会津若松市に寄付した。

同協議会は、これまでもジャパンアニメーション発祥の地である大泉学園駅での募金活動や、人気アニメグッズの被災地の子どもたちへの提供、アニメーターの避難所への慰問などの被災地支援活動を行ってきた。

会津若松市では、東日本大震災や原発事故の影響により、県内各地から子どもを含む多くの人々が避難し、生活を送っている。そうした被災者を支援するため、一昨年と昨年の練馬アニメカーニバルに会津若松観光物産協会（会長 室井照平 会津若松市長）が復興支援バザールを出展。練馬アニメーション協議会と協力したことが縁で、今回の寄付につながった。



セル画体験教室の様子



募金を渡す様子（左から石黒代表、会津若松市室井市長）

【アニメイベントで連携・協力した被災地へ】

練馬アニメーション協議会は、「練馬アニメカーニバル 2012」（平成24年11月10、11日にとしまえんで開催）で、練馬の地場産業であるアニメの素晴らしさを子どもたちに伝えようと、本格的なセル画制作体験教室を実施し、2日間で156名が参加した。また、東日本大震災の被災地から会津若松観光物産協会（福島県会津若松市）と（株）津美里振興公社（福島県会津美里町）が「復興支援バザール」を出展し、当日は、同地域の人気キャラクターである「あかべえ」、「八重たん」、「お城ボ（おしろぼくん）」、「あいづじげん」も応援に駆けつけた。

今回、練馬アニメーション協議会は、アニメ制作体験教室の参加費全額を、東日本大震災で被災した子供たちへの義援金として、「練馬アニメカーニバル 2012」で連携・協力した会津若松観光物産協会を通じて会津若松市に寄付した。同協議会の石黒代表は、「私たちはアニメを通じて、人々に夢と希望を与える仕事をしています。被災地で、今も困難に耐えながら精一杯がんばっている多くの子どもたちに、少しでも力になればとの想いで取り組みました」と話している。

●寄付金額 78,000円（参加費1人あたり500円×156名分）

【練馬アニメーション協議会とは】

練馬アニメーション協議会は、平成16年7月、練馬区内のアニメ事業者約50社が集まり発足。アヌシー国際アニメ見本市や東京国際アニメフェアへ毎年出展をしているほか、24年10月にはカナダ・ケベック州のケベック映画テレビ協議会とMOU（協力覚書）を締結するなど、積極的に海外ビジネスを展開している。また、練馬区内で開催される練馬アニメカーニバルやアニメプロジェクト in 大泉などのイベントでも大きな役割を果たしている。

【練馬区は日本のアニメ発祥の地であり、最大の集積地！】

練馬区は、日本初のカラー長編アニメ映画「白蛇伝」（昭和33年）や30分連続テレビアニメ「鉄腕アトム」（昭和38年）が制作された日本アニメ発祥の地である。現在も、区内には90社を超えるアニメ制作関連会社があり、国内最大の集積地となっている。また、区は平成21年にフランス・アヌシー市と「アニメ産業交流協定」を締結し、海外の都市間交流としては世界で初の試みとなるアニメを通じた国際産業交流を行っている。

【問い合わせ】 練馬アニメーション協議会 事務局 電話 03-6795-8886
練馬区 経済産業部 商工観光課 アニメ産業振興係 電話 03-5984-1276